

館内ウォークラリーについて<説明資料>



引率者
指導者用

1 ウォークラリーのおこり

オリエンテーリングとの違いは、ウォークラリーは速さを競うものではない点です。スピード重視の走る競技ではないので、自然に触れる・親しむという野外活動の醍醐味を味わう余裕があります。

体力差や年齢、性別などに関係なく、だれでも参加できることがウォークラリーの利点です。時間を気にせずに、ゆったりと自然の中を散歩してきてください。

2 ウォークラリーのルールについて

(1) 「時間得点+課題得点」の合計(100点満点)を、グループごとに競います。

時間得点…50点満点。規定所要時間との時間差で算出 ※下表参照

課題得点…50点満点(各5点)。チェックポイント(CP)での解答の正誤で決定

〔時間得点計算表〕

所要時間	時間得点
90分 ± 5分	→ 50点
90分 ± 10分	→ 40点
90分 ± 15分	→ 30点
90分 ± 20分	→ 20点
90分 ± 25分	→ 10点
上記以外	→ 5点
棄権	→ 0点

※【規定所要時間】は90分にしていますが、対象年齢や経験の有無によって変更していただいても構いません。

<タイム設定の例>

小・中学生…90分

高校生以上…80分

(2) コース図は、特殊な「コマ図」を使用します。

- ① コマ図は、地形を上から見たものです。また、建物や目印は記号化しています。
- ② 現在位置は“●”であらわしています。そこに立って前側が、コマ図の“上”になります。コマ図の向きと、実際の「東西南北」は関係ありません。
- ③ 進む方向は“→”であらわしています。

(3) スタートとゴールは、“ゆーすピアホール”です。

(4) 「CP」とある箇所で問題を解いてください。

なお、CPの場所には、CPであることの張り紙はありません。

3 実施上の注意点について

(1) 必ずグループで行動してください。グループ全員が到着しないとゴールになりません。

(2) 迷った場合、必ず前のCPまで戻るようにしてください。

(3) スタート&ゴール地点に「時計係(計時係)」を1名置いてください。また、スタートは、グループごとに間隔をあけてください(3~5分おきなど)。

(4) 規定時間を参加者に知らせる場合は、時計を持たせないようにすると、時間得点がまちまちになって面白くなります。時計を持たせる場合は、規定時間を知らせないという方法があります。

(5) 迷いやすいポイント、注意が必要なポイントなどは、指導者が立って安全確認を行ってください。

(6) 他団体が活動している室内に入らなくてもこたえられるようになっていますが

ウォークラリー

得点計算のしかた

(屋外・館内兼用)

1 課題得点

- ・各チェックポイント（CP）の解答を採点し、正解ならば、得点5点を加算する。
- ・各チェックポイントの得点を合計する。（最高点 50点）

2 時間得点

- ・所要時間（スタートしてから班全員がゴールするまでの時間）を求める。
- ・下記の時間得点早見表を用いて、得点を求める。

時間得点早見表

	ウォークラリーコース	館内ウォークラリーコース
50点	90分 ± 5分	30分 ± 2分
40点	90分 ± 10分	30分 ± 4分
30点	90分 ± 15分	30分 ± 6分
20点	90分 ± 20分	30分 ± 8分
10点	90分 ± 25分	30分 ± 10分
5点	上 記 以 外	上 記 以 外
0点	棄 権	棄 権

3 総合得点

- ・課題得点と時間得点を合計して総合得点を求める。

4 順位

- ・総合得点の多い順に1位、2位、3位・・・と順位をつけていく。

5 そのほか

- ・スタートは班ごとに間隔をあけて（5分おきなど）行ってください。
- ・ゴールインは、必ず班全員が到着したときとします。
- ・ゴールインしたら、解答用紙をわたしてください。